

令和3年度 美馬市立三島中学校 学校評価総括表

美馬市立三島中学校長 竹内 寛泰

(学校教育目標)
命を大切にし、自主的・自立的・創造的な力を備え、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

校訓
強 く…強い意志と強健な身体を育む
正 しく…正しい人権意識と生き方を培う
美 しく…美しく豊かな心と創造性を養う

学級数	生徒総数	教職員数
3 (5)	34	16

令和3年度
重点課題

- ・子どもの命を守り抜く教育の推進・充実
- ・わかる授業のさらなる展開
- ・郷土愛を育む教育の推進・充実
- ・ワークライフバランスを意識した働きがいのある職場環境づくりの推進
- ・人材育成が常にできる学校風土の醸成

めざす生徒像

- ・自ら学ぶ意欲に満ちた生徒
- ・自他の人権を尊重する生徒
- ・思いやりのある心豊かな生徒
- ・たくましく生きる生徒
- ・粘り強く、誠実に努力する生徒

重点目標	評価項目	具体的な方策・手立て	自己評価	結果の考察及び次年度改善策
子どもの命を守り抜く教育の推進・充実	・いじめを許さず、全ての生徒が安心して通うことのできる学校である。	・生徒会いじめ防止委員会を中心にいじめ防止の広報活動を行う。 ・生徒の成長を全職員で見守り、認め、褒める。 ・振り返り手帳の活用と個に応じた指導や声かけを励行する。 ・生活アンケートを月1回実施し把握する。	A	生徒会を中心とした広報活動やPBSにより、自他を大切にす風土が醸成されてきた。振り返り手帳の効果的な使い方について年度始めに共通理解を図る。
	・生徒個々が自らの生活を振り返り、望ましい生活習慣を確立する。		B	
わかる授業のさらなる展開	・学力向上及び個に添った学力向上の充実に取り組む。	・学年の枠を取り払い、生徒が主体的に取り組む「GOGO タイム」を設定する。 ・本時の目標を明確に生徒に周知するとともに授業の最後には本時の振り返りを行う。	B	朝学習で取り組む教科や内容を再検討する。また、家庭学習指導についても1人1台端末を活用した学習の在り方について学校全体で共通理解を図る。
	・職員研修を充実させ、授業改革を図る。	・1人1台端末を活用した授業づくり研修 ・研究授業 ・「学びウィーク」の設定	A	
郷土愛を育む教育	・三島の自然・歴史・文化を学ぶ機会を増やし、三島の良さを職員・生徒が認識する。	・小中合同の行事を充実させる。 ・地域行事に必ず職員が参加する。 ・地域の人材を活用する。	B	感染症対応のため、地域の行事に全て参加できなかった。三島地区のオリエンテーリングや三宅速博士を主人公にした人権劇を行い、郷土愛を育んだ。
	・三島が「好き」と言える生徒を育てる教育活動を推進する。	・自然・文化等に直接ふれる機会を持つ。 ・防災学習を充実させる。	A	
働きがいのある職場環境づくりの推進	・会議を精選する。	・多忙な時期を見据えてメリハリのある勤務となるよう各職員が見通しをもつようにして、会議前には事前に議題を示して資料を回覧しておく等、短時間で効率的に行う工夫をする。	A	職朝の活用や会議の効率化により、子どもと向き合う時間を確保できた。報・連・相ができる雰囲気づくりができた。
	・風通しのよい職場環境をつくり、職場の協働・同僚性を高める。	・常に報・連・相ができる雰囲気をつくる。 ・クリーンデスク	B	
人材育成が常にできる学校風土の醸成	・OJT を効果的に機能させる。	・若手とベテラン教員が共に働き、学びながら研修を深め教員の資質向上につなげる。	B	研修を実施し、職員の資質向上に努めた。

(評価基準：A 十分に達成できた B おおむね達成できた C やや目標を下回った D 改善を要する)

◆学校関係者評価委員会の評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、学校行事も工夫して実施し、ICT教育も充実させる等、子どもたちに経験を積ませている。また、地域においても子どもたちは日頃から元気な挨拶もできている。

◆評価結果と次年度についての校長所見

本年度の目標は概ね達成できた。コロナ禍ではあったが、ご家庭や地域の皆様のご協力により、体験的な活動も充実させることができた。引き続き、次年度も教職員一丸となって、命を大切に、いじめのない学校づくりに努めていく。